平成27年	F度事務事業評	該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載) 一般事務 公共建設事業 評価対象外事業
事務	8事業名	水田農業構造改革対策事業
予	算科目	6款 1項 4目
総合計画	での位置付け	産業の振興~もりもり元気なしごとづくり~ 農業の振興
	京課情報	担当課: ブランド推進課 電話番号(内線): 983-6350(706)
記入	者情報	→ 所属長: 向井 裕臣 担当責任者: 松原 幸男
事業	美の性格 おんしゅん	内部管理事務
	施期間	【開始年度】 平成 17 年度 【開始年度】設定なし
事業	美の対象 おおり こうしん こうしん こうしん しんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん しんしん しんりん しんしん しん	伊予市水田台帳に登載されている水田の所有者、耕作者
根拠法令等	伊予市水田農業推進	生事業補助金交付要綱、水田農業経営確立対策事業費補助金交付要綱
事業の目的	米の需給調整を効果的生産拡大等を集落単位	的に推進し、担い手の確保・育成、余剰水田の有効活用に資する戦略作物である麦の は位で推進する。
事業の内容		対策事業を実践する伊予市農業再生協議会への推進補助であったが、平成24年度は一 情事業補助へ、平成25年度からは一部が新品種・戦略作物等導入経営基盤強化事業補
改善策の 具体的 取り組み (当初)		
改善策の 具体的 取り組み		

		事業費	及び財源内訳		
J	頁 目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
	直接事業費	2,328	17,662	165	10,369
事業費	人件費	1,591	1,608	804	1,608
	合計	0	19,270	969	11,977
	人工数	0.20	0.20	0.10	0.20
人件費	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,590	1,608	804	1,608
	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	703	0	0	6,142
財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,216	19,270	969	5,835

	事業活	5動の実績(活動	动指標)		
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
はだか麦生産面積	ha	59	60	0	68

		向こう5年	間の直接事業	費の推移		
午庄	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
年度	1,196	1,196	1,196	1,196	1,196	5,980

			成果指標		
成果指		当該年度のはだか麦生産	面積/前年度のはだか麦生	産面積×100	
指標設定	Eの	当該年度のはだか麦の生産	産面積と前年度のはだか麦の	の生産面積を比較することで	ご、事業効果を測る。
区分年	度	26年度	27年度	28年度	
目标	漂	100%以上	100%以上	0	0
実	績	1.018	1.153	0	0

		自己評価		
		目的の妥当性	3	
	妥当性	市民ニーズへの対応	3	В
		市の関与の妥当性	4	
自己評価		事業の効果	3	
(担当責任者)	有効性	成果向上の可能性	4	В
()三二只江石/		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	3	
	効率性	コスト効率	3	В
		受益者負担の適正	4	
課題認識		度までの2ヵ年を対象とした水田フル活用事業として、はからため、引き続き継続を行う必要がある。	ごか麦の 生産	孤大美施 に

		一次評価		
		目的の妥当性	3	
	妥当性	市民ニーズへの対応	3	В
		市の関与の妥当性	4	
一次評価		事業の効果	3	
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	4	В
(別馬文)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	3	
	効率性	コスト効率	3	В
		受益者負担の適正	4	
	今年度から平成30年	隻までの事業で、継続した2ヵ年(27·28年度)を対象とし	て実施される	。水田フル

今年度から平成30年度までの事業で、継続した2ヵ年(27・28年度)を対象として実施される。水田フル活用を先導するモデル事業として、はだか麦の生産拡大に大きく貢献することから、引き続き事業動向を把握する必要がある。

課題認識

	二次評価
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

	行政評価委員会の答申
外部評価 (行政評価委員会)	

	経営者会議の最終判断
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	